

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

東金市長 鹿間 陸郎

市町村名 (市町村コード)	東金市 (12213)
地域名 (地域内農業集落名)	大和 (大和村2-1)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年1月29日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

- ・後継者が不足している
- ・高齢化により草刈り等が大変

(2) 地域における農業の将来の在り方

- ・農協と連携して農作物のブランド化を
- ・長生きをする
- ・6次産業の推進

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

--

注: 区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・担い手に集約する ・ほ場を大規模化してスマート農業の拡充をする
(2)農地中間管理機構の活用方針
・相続放棄等で荒れた農地を解消する ・農地中間管理機構を活用し、基盤整備事業の実施を目指す
(3)基盤整備事業への取組方針
・水が少ない、来ない ・ほ場の形が悪い ・路肩が整備されておらず草刈りが大変 ・用水関係の施設が老朽化している ・ほ場の整備が必要(島畑の解消、ほ場の大規模化) ・両総土地改良区のエリアにおいて、基盤整備事業の実施を検討している(アンケート済)
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・兼業農家が多い ・集落営農組織を立ち上げるべき ・農大と連携したり、他県の成功例を参考にして新規就農者を呼び込む
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input checked="" type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ①ジャンボタニシやイノシシといった鳥獣被害が増えている(意見)
- ⑨田んぼから天然ガスが噴出して困っている(意見)
- ⑨米や農産物が安い、農業収入が少ない(意見)
- ⑨農産物の価格補助をしてほしい(意見)
- ⑨農業機械や資材が高い、どんどん高騰している(意見)